

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-1	高等学校	農業	作物	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	農業 715	作物		

1. 編修の基本方針

教育基本法第二条の各号の目標を達成するため、それぞれ以下の点を基本方針とし、本書を編修した。

教育基本法第二条	方針
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・作物に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得させるようにする。 ・プロジェクト学習を通して地域の自然や文化、人々と触れ合うことによって、豊かな情操と道徳心を培えるようにする。
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を適宜配置することにより、自主的に学習に取り組めるようにする。 ・実践的な学習の手法について丁寧に解説し、実際の活動について主体的に目標・計画を立て実践し、評価できるようにする。
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の生活は、さまざまな立場の人々の協力のもとに成り立っている地域のコミュニティが基盤となっており、自身も主体的に社会に関わっていく必要があることを理解できるようにする。 ・実験や観察、実習を通じて、さまざまな人々と交流し、他者を思いやる心を育むことができるよう配慮する。
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去から現在までの人間と自然との関わりについて改めて触れ、自然環境を含めた人間をとりまく環境の重要性について認識できるようにする。 ・実験や実習などの実践的な学習を通して、生命や自然を尊ぶ態度を養うことができる内容とする。
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における作物の役割について記述し、日々の暮らしについて改めて考えることができる。 ・さまざまな作物のデータなどについて、日本だけでなく海外の事例を取り上げ、国際性を育むことができるようにする。

2. 対照表

● 全体的な特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
本文中のゴシック体	・ 学習上で重要な用語についてはゴシック体で強調し、あわせて丁寧な定義や説明を記述することで、幅広い知識と教養が定着するよう配慮した(第1号)。	p. 6, 7, 10 など
目標	・ 各節の初めに目標を設け、これから学ぶ内容を簡潔に示すことで、学習内容に関する興味・関心を喚起し、自ら学ぼうとする態度を養えるよう配慮した(第2号)。	p. 6, 14, 21 など
実験・観察・実習	・ 実験等において、互いに協力して作業を行い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第3号)。	p. 142, 143, 145, 146
コラム・参考	・ 本文と関連した、生徒の興味をひくような内容を「コラム」や「参考」として取り上げ、幅広い知識を身につけられるよう配慮した(第1号)。	p. 8, 12, 27 など
調べてみよう 考えてみよう	・ 作物について調べることを通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第5号)。	p. 7, 12, 68 など
話し合ってみよう やってみよう	・ 話し合いや実習において、互いに協力して作業を行い、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮した(第3号)。	p. 17, 19, 124

● 各章における特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 作物生産の役割と動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作物の役割や動向などを記述し、自然環境を含めた人間をとりまく環境の重要性や将来性について認識できるようにする(第4号)。 ・ 作物は、生活する上で欠かせないものであることに触れ、産業としての農業の大切さに改めて気づくことができるよう心がけた(第2号)。 	p. 6, 14

第2章 作物の特性と栽培技術	<ul style="list-style-type: none"> 作物の分類について取り上げ，さまざまな利用目的の具体例を示すことにより，日々の暮らしについて改めて考えることができるようにした（第5号）。 品種や育種について取り上げ，作物の栽培について幅広い知識を習得できるようにした（第1号）。 	p. 26 p. 28
第3章 イネ	<ul style="list-style-type: none"> 世界の栽培の現状やイネの歴史を「履歴書」として取り上げることで，国際社会にも関心をもつことができるようにした（第5号）。 栽培に関する基本的・基礎的な知識はできるかぎり図や写真を用いて記述し，幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した（第1号）。 イネの栽培に関する基本的・基礎的な実験や観察，実習を行うことで，さまざまな人々と交流し，他者を思いやる心を育むことができるよう配慮する。（第3号）。 米の需要，供給について理解し，動向や現状を学び，将来の稲作経営について考えられるよう稲作経営の特性についてまとめた（第5号）。 	p. 70 p. 72-137 p. 47, 50, 69 p. 138-141
第4章 麦類	<ul style="list-style-type: none"> 世界の栽培の現状やムギの歴史を「履歴書」として取り上げることで，国際社会にも関心をもつことができるようにした（第5号）。 栽培に関する基本的・基礎的な知識はできるかぎり図や写真を用いて記述し，幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した（第1号）。 麦類の需要，供給について理解し，動向や現状を学び，将来の麦作経営について考えられるよう麦作経営の特性についてまとめた（第5号）。 	p. 148-149 p. 150-163 p. 164-166
第5章 トウモロコシ	<ul style="list-style-type: none"> 世界の栽培の現状やトウモロコシの歴史を「履歴書」として取り上げることで，国際社会にも関心をもつことができるようにした（第5号）。 栽培に関する基本的・基礎的な知識はできるかぎり図や写真を用いて記述し，幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した（第1号）。 	p. 168-169 p. 170-175
第6章 豆類	<ul style="list-style-type: none"> 世界の栽培の現状や豆類の歴史を「履歴書」として取り上げることで，国際社会にも関心をもつことができるようにした（第5号）。 栽培に関する基本的・基礎的な知識はできるかぎり図や写真を用いて記述し，幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した（第1号）。 	p. 179, 180, 188, 191 p. 181-194

第7章 いも類	<ul style="list-style-type: none"> 世界の栽培の現状やいも類の歴史を「履歴書」として取り上げることで、国際社会にも関心をもつことができるようにした(第5号)。 栽培に関する基本的・基礎的な知識はできるかぎり図や写真を用いて記述し、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した(第1号)。 	p. 196, 198, 206, 211, 214, p. 181-194
第8章 その他の作物	<ul style="list-style-type: none"> 世界の栽培の現状やその他の作物の歴史を「履歴書」として取り上げることで、国際社会にも関心をもつことができるようにした(第5号)。 栽培に関する基本的・基礎的な知識はできるかぎり図や写真を用いて記述し、幅広い知識と教養を身につけることができるよう配慮した(第1号)。 	p. 218, 219, 224, 225 など p. 218-260
第9章 作物の流通と経営の改善	<ul style="list-style-type: none"> 数値をもとに流通や経営について記述することで、動向や現状を学びやすくし、将来の作物の経営について考えられるようにまとめた(第5号)。 	p. 262-270
第10章 作物生産の実践	<ul style="list-style-type: none"> 高校生による取り組みの事例を取り上げることにより、これらを参考として生徒が自主的に活動に取り組むことができるようにした(第2号)。 	p. 272-275

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条の各目標を達成するため、以下の点に留意し、本書を編修した。

一 義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 作物と人間の関わりについて丁寧に解説することで、他者や生物への思いやり、いのちの大切さについて改めて考えることができ、豊かな人間性を養えるように配慮した。
二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。	<ul style="list-style-type: none"> 作物に関する知識について丁寧に記述することで、専門的な知識や技術を習得することができ、これらを応用して実践的な活動に取り組むことができるよう工夫した。
三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 作物と人間との関わりを、身のまわりから社会的な側面、また、日本と海外など、さまざまな視点から取り上げることによって、広く深い知識の習得や、さまざまな角度で事象を捉えることのできる態度を養えるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-1	高等学校	農業	作物	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
7 実教	農業 715	作物		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

○全体的な配慮と特色

- (1) 作物に関する基礎的・基本的な知識と、栽培の技術の習得を通して、作物の栽培や経営に関する興味・関心を喚起できる内容とした
- (2) 各節の始めに目標を設け、これから学ぶ内容などを簡潔に示し、生徒の興味・関心を喚起するように努めた。
- (3) 生徒が学びやすいよう、イラストを含む図表や写真を豊富に掲載し、また、原則として下段に図表や写真、上段に本文を配置する紙面構成として、視覚的な理解を促すように工夫した。
- (4) 文章はできるだけ短くするなど、簡潔で平易な表現を心がけた。
- (5) 読みにくい用語や地名にはルビをふり、また重要用語はゴシックにするなどして、生徒が読みやすく、理解しやすいようにした。
- (6) カラーページには、本文中では表現できない色を生かした写真を多用することで、生徒の興味を引くことができるよう工夫した。

○各章における配慮と特色

- (1) 第1・2章は総論とし、各論を学ぶための基礎となる基本的な事項について扱った。
- (2) 第1章では、作物の役割や栽培の動向などについて平易に解説し、教科書全体の導入となるよう配慮した。また、作物とプロジェクト学習について、具体的な進め方などがわかるように記述した。
- (3) 第2章では、作物栽培の基礎となる作物の発育と生理について、とくに作物の一生および花芽形成・開花・結実に至までの動きを解説し、さらに作物栽培と自然環境との関係を生産の安定・高品質作物生産の立場からできるだけ平易に記述した。
- (4) 第3～8章の各論では、おもな作物の栽培から出荷まで、各作物の特徴についてより詳しく学習できるように努めた。すなわち、各作物の生育のすがたと栽培管理について図示し、視覚的に作物の生理・生態的な特徴や生育の相互関係を理解できるように工夫した。
第3章では、生徒が自ら考え・実施・体験できるように、イネの生育と収量の診断の仕方について説明し「実験・観察・実習」を取り上げ、学び方・考え方の育成に努めた。
- (5) 第9章では、多様化した作物の流通のしくみを理解させ、さらにこれまでの学習を踏まえて、作物生産における経済的・栽培的診断を作業体系、生産費、栽培技術などから問題点を解説し、その改善の必要性を示した。また、今後の作物の栽培と経営のあり方についての指針を示し、作物の栽培と経営に興味と関心を喚起することに努めた。
- (6) 第10章では、作物に関する一連の生産活動および経営の改善に取り組む活動を実際に行っている高校を紹介し、生徒が主体的・意欲的に作物生産と経営に関する企業的な課題に取り組めるよう工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 作物生産の役割と動向 1 作物とは 2 作物栽培の動向 3 作物とプロジェクト学習	(2) ア, イ, ウ (1) ア, イ	p. 6-24	10
第2章 作物の特性と栽培技術 1 作物の種類と特徴 2 作物の生育と生理 3 栽培環境と生育の調節	(3) ア, イ, ウ, エ	p. 26-68	45
第3章 イネ 1 栽培的特性 2 栽培管理 3 栽培計画と評価 4 農業経営の特性	(3) ア, イ, ウ, エ (4) ア, イ, ウ, エ, オ	p. 70-146	145
第4章 麦類 1 栽培的特性 2 栽培管理 3 農業経営の特性		p. 148-166	
第5章 トウモロコシ 1 栽培的特性 2 栽培管理 3 農業経営の特性		p. 168-176	
第6章 豆類 1 豆類の栽培的特性 2 ダイズ 3 アズキ 4 ラッカセイ		p. 178-194	
第7章 いも類 1 いも類の栽培的特性 2 ジャガイモ 3 サツマイモ 4 サトイモ 5 コンニャク		p. 196-216	
第8章 その他の作物 1 雑穀類 2 糖料作物 3 油料作物 4 し好作物 5 繊維作物 6 香辛作物		p. 218-260	
第9章 作物の流通と経営の改善 1 流通とその改善 2 経営とその改善	(5) ア, イ, ウ, エ	p. 262-271	8
第10章 作物生産の実践	(6)	p. 272-275	2
		計	210